

農学部は
2024年4月に
生まれ変わりました



国立大学法人

鹿児島大学 農学部

FACULTY OF AGRICULTURE KAGOSHIMA UNIVERSITY





農学部 WEB SITE

農と環境・食と健康への
関心と興味が君を育てます

Question

あなたが本学科を選んだ理由は？

私の祖父母は農業を営んでおり、幼い頃から農業に興味がありました。鹿児島では全国的にも農業が盛んに行われており、そこで農業を学ぶことで様々な知識や経験を得られるのではないかと考えたため、鹿児島大学を選びました。実際に本学科で多くの分野の授業や農場での実習を受け、多くの知識や経験が身に付いています。

有光 彩英
農学部 4年
長崎県出身 長崎東高等学校卒業

Question

あなたが本学科を選んだ理由は？

防災に興味があったため砂防分野を学ぶことができるこの学科を選択しました。この学科では他にも森林管理や計画、木材資源、農業機械、農地や水資源の保全など幅広い分野について学ぶことができます。また、実習を通して様々な経験もできるのでそれぞれの分野について楽しく、より深く学ぶことができます。

平田 葵
農学部 4年
鹿児島県出身 武岡台高等学校卒業

Question

鹿児島大学に興味を持っている受験生に対するアドバイスをお願いします。

9つの学部を持つ九州でも有数の総合大学です。その特徴から多様な友人・繋がりができます。私は試行錯誤の末、鹿児島大学を選んでよかった!と思えることが勉強以外にもたくさんありました。勉強の設備/敷地ももちろん充実しています。市電のおかげで生活も快適ですよ。鹿児島大学で皆様の入学をお待ちしております!

末松 竜馬
農学部 4年
福岡県出身 新宮高等学校卒業



食と農、森と水、
基礎から
最先端バイオまで。



農学部は、平成21年に開学100周年を迎えました。
鹿児島高等農林学校講堂(鹿児島大学農学部前身)

》学部の理念

日本の食糧基地に位置する農学部は、農林業、食品産業等、食住農関連分野の技術者、地域指導者等を養成しています。農学部は温帯から亜熱帯へ数百 km に及び多様な自然環境を背景にもち、明治の開学以来、海外への展開を使命としてきました。そのため、フィールドでの教育を重視し、豊かな人間性、現場での実践力、優れた応用力、広い視野と国際性の涵養を教育の目的としています。

- 最先端の科学技術教育 ◎発酵・バイオ・食のサイエンスを極める
- 食と農・環境関連分野の実践重視教育 ◎温暖な環境に恵まれたフィールドなどでの実習・実験



》教育目標

多様な自然環境と生物資源に恵まれた鹿児島の地域特性を活かした主体性重視の実践教育及び 分野横断型農学 DX 教育により、我が国の持続可能な農林食産業の発展と地域の課題解決に農学総合力と専門性を持って果敢に取り組み、新時代を自ら切り拓くことができる人材の育成を目標とします。

》アドミッション・ポリシー

農学部は、次のような学生を国内外から広く求めています。

1. 農学関連分野に強い関心を持ち、将来これらの分野で活躍をめざす意欲のある人
2. 自然科学の幅広い知識と英語の基礎的な学力を備え、知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力の修得に意欲のある人
3. フィールドや生産現場での技術・研究に強い関心を持ち、農林業及び食品生命科学に関する実務・実技能力の向上を目指す人
4. 多様で持続的な社会の構築に参画し、地域社会、国際社会に貢献することを目指す人

》施設・環境

農学部は平成17年～19年に現在の建物に改修され、鹿児島大学郡元キャンパスの北端に位置しています。本学部の附属農場、附属演習林はいずれも国立大学の中で有数の規模を誇ります。また、学内だけでも3万㎡を超える農場と植物園を有し、郡元キャンパスに長閑さと緑の潤いをもたらしています。



▲農・獣医共通棟



▲農学部附属農場



▲農学部附属演習林(高隈演習林)

》学部の構成



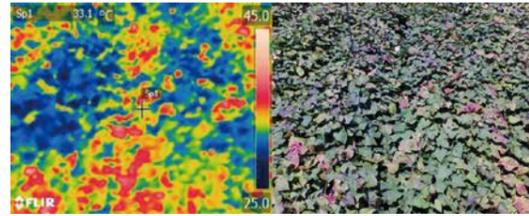
植物資源科学プログラム

主な
学びの
分野

植物育種学、土壌生態制御学、熱帯作物学、比較環境農学、果樹園芸学、土壌・植物微生物学、植物生命工学、環境情報システム学、観賞園芸学、作物学、植物栄養・肥料学、植物病理学、植物栽培・機能学、熱帯果樹園芸学、農業環境システム学、園芸作物生産学

先進技術による植物資源の生産と活用を実現する

植物を資源とする農産物の生産・開発に関する分野について教育・研究します。温帯から亜熱帯にまたがる鹿児島県の地域特性を活かし、九州・南西諸島地域の農業の現場をフィールドとして、新しい植物資源生産技術と植物資源を活用した新たな農産物の創出に貢献できる人材を育成します。



主な授業科目

- 遺伝学
- 植物栄養・肥料学
- 植物病理学
- 比較環境農学
- 作物学
- 応用植物科学概論
- 果樹園芸学
- 熱帯作物学
- 食環境微生物学
- 農業機械学
- 栽培技術論
- 蔬菜園芸学
- 植物育種学
- 食料安全生産論
- 耕地生態学
- 観賞園芸学
- 土壌科学
- 植物遺伝資源学
- 農場実習
- 農業気象環境学



環境共生科学プログラム

主な
学びの
分野

農林業DX、木材工学、害虫学、育林学、森林計画学、森林保護学、砂防・森林水文学、利水工学、地盤環境工学、植物間コミュニケーション、動物繁殖学、動物行動学、森林政策学、森林保護学、農地環境保全学、森林利用学、木質組織学

生物多様性の保全と農林産物の生産活動が調和した持続的発展を実現する

環境の保全や農林産物資源の生産に関する分野について教育・研究します。グローバルかつ地域的視点をもって自然資本を理解し、生物多様性の保全に関する諸問題の解決に取り組み、持続的かつ安定的な農林業生産活動に貢献する人材を育成するプログラムします。



主な授業科目

- 環境共生農学
- 基礎統計学
- バイオマス工学
- 応用動物行動学
- 森林微生物学
- 土壌科学
- 応用数学
- 農林産物サプライチェーン
- 森林動物学
- 木質工学
- 環境フィールド演習
- 農地保全学
- 水土実験
- 森林経済学
- 育林学
- 農業気象環境学
- 景観デザイン学
- 害虫学
- 森林保護学



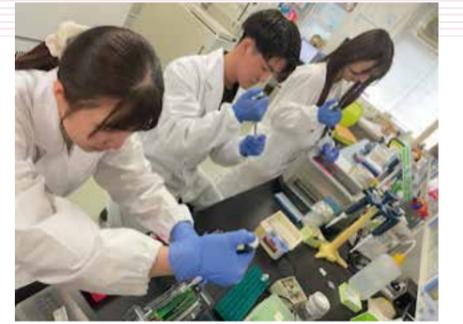
食品生命科学プログラム

主な
学びの
分野

応用微生物学、応用糖質化学、食品分子機能学、焼酎製造学、醸造微生物学、先端健康科学、生命高分子化学、生分子機能学、食品化学

生物資源を分子・細胞・生体レベルで解析し食の発展と人の健康に貢献する

食品に関する幅広い分野について教育・研究します。生物資源を分子から細胞、生体までのマルチスケールで捉え、先進のバイオテクノロジーを駆使して食品素材の新機能探索や評価、焼酎製造や発酵を担う微生物の育種や機能を解明することによって健康で豊かな食生活基盤を支えるための人材を育成します。



主な授業科目

- 食品化学
- 応用微生物学
- 植物性食品学
- 食品衛生学
- 醸造微生物学
- 生物化学
- 酵素化学
- 動物性食品学
- 分析化学
- 栄養化学
- 有機化学
- 細胞分子生物学
- 糖質化学
- 青果保蔵学
- 焼酎製造学実験
- 代謝生化学
- 食品微生物学
- 焼酎製造学
- 食品機能学
- 食環境微生物学

農食産業・地域マネジメントプログラム

主な
学びの
分野

農業経営学、農業経済学、農業市場学、食品管理学、農産食品保蔵学、食品保蔵学、フードシステム論

経営・経済学観点から農食産業と地域の持続的発展に貢献する

農食産業の経営・経済的な分析や実践的な技術及び地域マネジメントについて教育・研究します。農食産業の生産から加工・流通・消費までをフードシステムとして捉え、経営・経済学的及び技術論的に理解するとともに、地域を取り巻く諸問題の解決に貢献する実践的な人材を育成します。



主な授業科目

- フードシステム入門
- 暖地農場実習
- 森林経済学
- 国際農業論
- 食品衛生学
- 農産物価格理論
- 生物統計学
- 農産物流通論
- 農業政策学
- 青果保蔵学
- 農業経済学入門
- 食産業・地域マネジメント論
- 農産物マーケティング論
- 農村課題解決プログラム
- ポストハーベスト生化学
- 食料経済学
- 農業経営学
- 質的研究方法論
- 協同組合を知ろう
- 食品プロセス学

21世紀の国際的な食料問題に取り組む人材の養成

Question

鹿児島大学に興味を持っている受験生に対するアドバイスをお願いします。

農学部、水産学部、両学部の講義を受けることで、食料関連について幅広く学ぶことができます。また、3年次に研究室配属がありますが、国際コースの学生は、農水産全ての学科が配属候補になるので、まだやりたいことが明確でない人にもおすすめです！自由度が高いところが魅力です。

鈴木 凜花子

農学部 国際食料資源学特別コース 3年
福岡県出身 明治学園高等学校卒業

Question

卒業後の夢について教えてください。

研修や卒業プロジェクト、留学など目的を持った海外渡航を積み重ねるチャンスがあるので、将来農業や水産に関連した国際協分野で活動する足掛かりにしたいと考えています。現在、ボランティアのNGOでウガンダやタンザニアに関わっているので、副業としての国際協力をもっと社会に広めたいとも思っています。

山下 颯太

水産学部 国際食料資源学特別コース 3年
北海道出身 北海道富良野高等学校卒業

》特別コースの目的

特別コースでは、東南アジア・南太平洋・アフリカを中心とした国際社会を対象として、食料資源の持続的生産とその合理的利用の分野の専門知識を修得し豊かな世界観と倫理観を備え、グローバル化する産業社会に参画し、国際社会に貢献できる進取の精神を持った人材を育成します。

》特別コースの教育内容

- 1.国際的な食料資源問題に関する専門的な知識と豊かな教養を体系的に修得します。
- 2.国際的な食料問題に関わる人材に必要な、高い英語能力や異文化理解力を身につけます。
- 3.国際的な食料問題に関わる人材に必要な、高い社会貢献意識と豊かな思考力を育てます。
- 4.農学系学生と水産学系学生と一緒に学び、総合的、複眼的な視野を身につけます。

国際食料資源学特別コース【入学定員22人】

(農学系サブコース:12人+水産学系サブコース:10人)

国際社会における地域間の連携・協力を通じた、食料資源の持続生産と問題解決のための高度な専門知識を修得する。

- 国際農林水産学
- 国際食料生産学
- 持続的農林水産資源学

- 海外研修
- インターンシップ
- 海外共同研究参画
- 外国語訓練

食料・資源問題について国際的に活躍できるグローバル人材

卒業後の進路

- 国際公務サービス
 - 国際公務員
 - JICA海外協力隊
 - 食料系公務員
 - 食料品貿易企業
 - 総合商社
- グローバルビジネス
 - グローバル食品企業
 - 外資系食品企業
 - コンサルタント企業
- 進学先
 - 鹿児島大学大学院農林水産学研究科
 - 海外の大学院

卒業生の声

坂元醸造(株)
総務部
西 修平
生物生産学科
平成30年度卒業
鹿児島県立
加治木高等学校出身

挑戦できる環境が鹿児島大学にはあります。

今、どのような事をされていますか？

鹿児島の壺造り黒酢を製造・販売する坂元醸造(株)で総務部として、経理や人事労務や広報等に携わっております。鹿児島の伝統食品である黒酢の良さを一人でも多くの方に知って頂き、美と健康に役立ててもらおう。そのためにも時代の流れにあった広報活動という点に力を入れていきたいと思っております。

鹿児島大学を選んでよかったと思うことは？

現在の仕事は学生時代に学んでいた事とは異なりますが、物事の考え方、課題に対するアプローチの仕方等は共通しており

役に立っております。卒業論文では未知な課題に取組ましたが、その経験があったからこそ今でも新しい事に挑戦する事に面白さを感じています。

後輩に対してメッセージをどうぞ！

鹿児島大学は色々な事に挑戦できる環境があります。やってみたい事、興味がある事何でも良いと思いますので、失敗を恐れず挑戦してほしいと思います。大学時代の経験は社会に出てきつと役に立ちます。有意義で楽しい学生生活を過ごしてください。



卒業生の声

山崎製パン株式会社
食品衛生管理センター
今村 仁風
農学部食料生命科学科
令和3年度卒業
農林水産学研究科食品創成科学専攻
令和5年度修了
鹿児島県立
錦江湾高等学校出身

興味のあることに突き進め!やりたいことが必ず見つかる!!

今、どのような事をされていますか？

食品工場で食品衛生を担当しています。お客様に安心・安全な製品をお届けするために、製品や作業場の衛生環境を測定し、それらの結果を踏まえ日々改善しています。また、現場の方々と協議し製品の品質や生産効率も考慮しながら、より安全な製品を出荷できるよう取り組んでいます。

鹿児島大学を選んでよかったと思うことは？

学会、海外研修、企業との共同研究など、学外でのイベントに参加することができ、興味や知識の幅を広げることができたことです。中でも3年生の時に「食の安全」を

テーマとした海外研修に参加したことで、この分野に興味を持ち、その後の研究活動、さらには現在の仕事につながっています。

後輩に対してメッセージをどうぞ！

やりたいことがはっきりしている人も、まだこれからの人も、鹿児島大学にはあなたの興味がある何か必ずあります。意欲があれば、あなたをサポートしてくれる先生方や環境、制度があります。それらを駆使して大学生生活をエンジョイしてください！きっと明るい未来が待っていますよ。



卒業生の声

院庄林業(株)
営業本部
吉井 聖裕
農林環境科学科
令和3年度卒業
兵庫県立
加古川西高等学校出身

「自分の頭で考える」「行動する」「休む」鹿児島大学で人生の歩みを進めてください!

今、どのような事をされていますか？

岡山県津山市を拠点に植林・伐採・製材・集成材生産・プレカット加工を行う会社に努めています。主な業務は製材品・集成材の販売です。メイン顧客はプレカット工場・住宅メーカーで、土台・柱・梁桁などの構造躯体の営業を行っています。SDGs関連のイベントでワークショップを開くこともあります。

鹿児島大学を選んでよかったと思うことは？

講義にフィールドワークが多くあり、座学だけでは得られない体験を得られたことは大きな財産です。高隈演習林はもちろん、岩手・屋久島などの山林に入る機会がある恵まれた環境でした。営業活動でも引き出しがかなり増えた

など実感しています。様々な体験を通して自分を見つめなおすことができました。

後輩に対してメッセージをどうぞ！

大学での経験は財産だと思います。物の考え方が身についたり、遊びの中で知恵と経験が蓄えられたり。学生生活は捨てるところがない経験だなあと感じます。立地条件がよく、総合大学で様々な分野に触れられる鹿児島大学にぜひ。これからの大学生活がみなさんにとって最良のものになることを願っています!



取得可能な資格 (p9参照)

- 高等学校教諭一種免許状(農業)
 - 食品衛生管理者(任用資格※)
 - 食品衛生監視員(任用資格※)
- 卒業要件に含まれる科目のほか、関連科目の履修が必要である。食品生命科学プログラムは養成施設であるため、卒業時に任用資格となる。
その他のプログラムについては、指定される科目を修得し、卒業後に申請する必要がある。
※卒業後、食品衛生に関連する職種に就く場合に取得できます。
- 自然再生士補
認定科目を修得した者の申請に基づき、財団法人日本緑化センターが認定する。卒業要件に含まれる科目で取得可能であるが、資格取得が卒業の必須条件ではない。
 - 樹木医補
認定科目を修得した者の申請に基づき、財団法人日本緑化センターが認定する。卒業要件に含まれる科目で取得可能であるが、資格取得が卒業の必須条件ではない。

卒業後の進路

- 公務員
 - 農林水産省
 - 林野庁
 - 県庁
 - 市役所
 - 教職
- 農業関係
 - 農業関係機関・団体
 - 農業機械・施設関連企業
- 林業関係
 - 林業関連機関・団体
 - 森林・木材関連企業
- 建築・土木関係
 - 建設関連企業
 - 環境関連企業
- アグリビジネス
 - 食品関連産業
 - 商社
- 薬品関連産業
 - 化学関連産業
 - 発酵・醸造関連産業
- 大学院進学
 - 環境アセスメント

》特別コースの特色

本コースでは、4年次に「卒業プロジェクト」に取り組みます。卒業プロジェクトでは、農学部・水産学部の指導教員の元で、短期留学による海外農水産業の調査や国際機関での実務研修などを実施します。

卒業プロジェクト・ケース①

タイで高耐乾性サトウキビの特徴を明らかにする

鹿児島大学が学術協定を締結しているタイ王国カセサート大学へ留学し、卒業プロジェクトを行いました。タイはサトウキビ生産量が世界第4位であり、輸出量は世界全体の10%を占めます。しかし、熱帯に位置するタイでは、乾季に深刻な干ばつによって収量が大きく減少してしまうという問題があります。灌漑設備は作付面積の10%未満しか整っておらず、大半は天候に依存した栽培方法であるため、乾季の水不足によって収量が最大50%減少してしまします。よって、水不足に耐えられる品種を特定し、新品種の開発に活かす必要があります。そこで、卒業プロジェクトでは、現地で栽培されている4つのサトウキビ品種を用いて、干ばつに対してどのような反応を示すか検証しました。4品種それぞれの干ばつ下の生存戦略を明らかにした研究成果が、タイの更なるサトウキビ産業の振興に貢献することを願います。



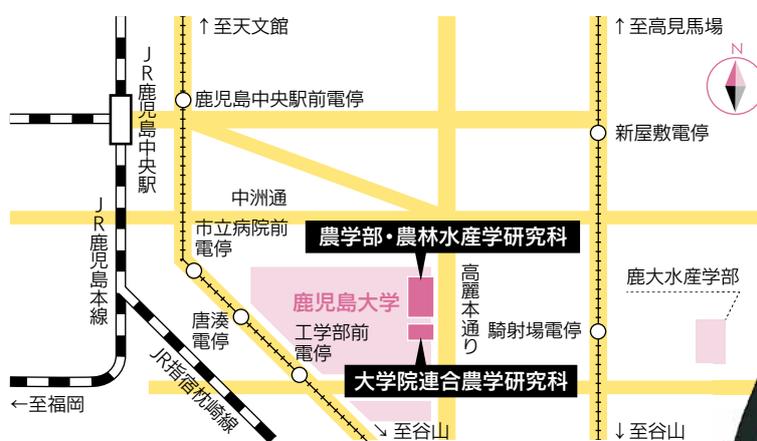
卒業プロジェクト・ケース②

漁業者コミュニティの生活基盤向上を目指して…

持続的な水産資源の有効活用を軸とし、漁業者コミュニティの生活基盤の向上を目指したプロジェクトを進めてきました。セントルシア、マレーシア、フィリピンを主な活動地域として水産資源の利活用状況の分析や簡易的な資源量のモニタリング方法の検討と提案、付加価値を高めた水産資源の利用法の提案、漁業規則と漁業者の遵法意識の分析など地域の漁業者が抱えている問題の分析や解決に向けた活動をプロジェクト担当学生と地域の漁業関係者との協働で進めてきました。これらの活動で得られたことは、国内での提案や活用が期待されます。



フィリピンにおける漁業者からの聞き取り調査



鹿児島大学公式マスコットキャラクター

きつん



国立大学法人

鹿児島大学 農学部

FACULTY OF AGRICULTURE KAGOSHIMA UNIVERSITY

〒890-0065 鹿児島市郡元1-21-24 鹿児島大学農学部学務課学生係

TEL: 099-285-3553 FAX: 099-285-3533

<https://www.agri.kagoshima-u.ac.jp/>

E-mail: nkgaku@kuas.kagoshima-u.ac.jp

2024年7月発行